

佐伯小学校だより

【夢に向かい 未来を拓く 児童の育成】

「挨拶いっぱい」
「力いっぱい」
「夢いっぱい」
令和2年度
8・9月号

「ありがとう」であふれる学校に



(学校全体のことを考えて動いている6年生)



(2学期始業式の様子)

「全員そろって元気に2学期を迎えること！」これが、夏休み最大の目標であることを1学期の終業式の時に伝えました。19日間の短い夏休みを終え、おかげさまで大きな病気や事故もなく「2学期」をスタートすることができました。

さて、学校ホームページにも掲載していますが、1学期最終日の一斉下校時に、感動的なことがありました。司会の6年生が突然「後ろを向きましょう！」と声をかけると、全校児童が後ろを向き、「先生方、1学期間ありがとうございました。」とお礼を言いました。さらにバスの運転手さんにも、お礼を言うことができました。特に1学期は、コロナ対策関連で「臨時休校」「マスク着用」「友達との間隔をとる」「水泳中止」など、不自由な思いをし、ストレスを抱えることもあったかと思えます。そのような状況の中でも、子どもたちは**成長した姿**をたくさん見せてくれました。思いを伝えたり、態度に表したり、喜びや感動を与えたりすることができるようになった児童に誇りを感じます。

さあ、今日から2学期のスタートです。2学期の終わりにも、支えてくれる周囲の人に「ありがとうございました」と言えるように、毎日を大切に過ごしてほしいです。「感謝できる人に」「感謝される人に」なり、「ありがとう」であふれる学校にしていきたいと思います。

保護者の皆様には、また2学期の生活や行事に向けて、お子様の健康管理やさまざまな準備物などお世話になります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

【文責：校長 川埜 誠】

【佐伯中学校区地域学校協働本部ニュース】

7月26日(日)校舎周辺(舟岡山斜面)の環境整備作業

～地域・保護者ボランティアの皆様 ご協力ありがとうございました～

7月26日(日)朝7時より、小学校周辺の草刈り作業が行われました。今年度はコロナ禍で夏季休業期間が短くなったこともあり、予定していたPTA事業としての環境整備作業が中止となったため、急遽、佐伯中学校区地域学校協働支援本部の「環境整備部」が動いてくださり、日程調整や応援の声掛けをして、作業日の調整が行われました。

当日は、地域の区長様方をはじめ、佐伯ふるさと祭り実行委員会メンバーの皆さん、佐伯中学校生徒会ボランティア、佐伯小学校保護者・教職員、総勢約50人もの方が集まりました。

草刈り機や熊手など、道具を持っての作業ですから自然とソーシャルディスタンスは守られる形で、手際よく作業が進められていきました。多くの人々の力(パワー)というものは本当に素晴らしいものです。みるみるうちに斜面の草や木が刈り取られ、刈り取ったものは一輪車や軽トラックに積み込まれて、片付けられていきました。

学校裏の舟岡山周辺だけでなく、玄関周りやプール周辺もきれいにしていただきました。見通しが良くなり、これで害獣や虫・蛇といった生物からの危険性も少なくなることでしょう。2学期も気持ちの良い環境で学習ができます。ご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。



○佐伯中学校区地域学校協働本部は、昨年度より立ち上がりました。学校園と地域が一緒になって『やる気・やりぬく・やさしさをもった佐伯っ子』の育成をめざした取組を進めており、地域ボランティアの方々を中心に「学習支援・環境整備・安全見守り・読み聞かせ」といった活動を行っています。

※ボランティアの募集は随時行っています。力を貸していただける方はいつでも学校にご連絡ください。

★佐伯小学校ホームページ日々更新中！

【和気町立佐伯小学校 で検索OK】アドレス→<http://saeki-es.wake.schoolweb.jp>

